

令和6年度（2024年度）第2回東海市総合教育会議 議事録

日 時 令和6年（2024年）12月9日（月）

午後1時30分から2時30分まで

場 所 603会議室（庁舎6階）

出席者 花田市長、鈴木教育長、村上教育委員、久野教育委員、石川教育委員、
木村教育委員、堀ノ口教育委員、星川副市長

企画部 成田企画部長、加藤企画部次長兼財政課長、中島企画政策課長、稲葉統括主任、
江端主事補

教育委員会 小島教育部長、鈴木教育委員会次長兼スポーツ課長、桜井学校教育課長、
明壁主任指導主事、永田統括主任、永井社会教育課長、浅井統括主任

欠席者 なし

傍聴者 なし

（内容）

1 協議事項

中学校部活動の地域移行について

事務局（教育部長）より資料に基づき説明

〔協議にかかる主な意見・質疑等〕

木村委員：地域移行を考えている文化活動は吹奏楽のみなのか。

学校教育課長：現在、土日に行っている部活動が吹奏楽のみのためである。

教育部長：市としては、文化活動ができる団体や場所の情報提供をしていくことも
考えている。

村上委員：資料1別紙に記載のある会場は、どこの中学校か決まっているのか。

教育部長：決まっていないが、各競技でどの程度の会場数を確保できそうかという
検討はしており、それを資料上に反映したものである。

久野委員：吹奏楽をやる場合、各家庭の負担は増えるのか。

教育部長：部活動では無料で活動できていたが、地域移行後は1回500円で、月
に4回程度の活動を想定している。

堀ノ口委員：資料1の3ページに、「活動は16時45分には下校を完了する」とある
が、平日でも同様の下校時間となるのか。その場合、活動時間が短くな
るのではないか。

主任指導主事：教員の勤務時間が１６時４５分までとなっているため、平日も同様の時間までに下校が完了するよう指導することとなる。６時間授業の日は帰りのホームルームが１６時ごろ終了するので、３０分ほどの活動時間となる。

石川委員：地域移行後は、吹奏楽で使用する楽器のメンテナンスはどのようにするのか。

教育部長：部活動で使用している楽器を拝借して使用することとなるので、これまで通り学校でメンテナンスすることとなる。

久野委員：第１回の会議の際、スポーツ指導者バンクの登録者が１名との事だったが、新たな登録者はあったか。

教育委員会次長：現時点で４名の登録がある。

２ 報告事項

(1) 学校運営協議会の設置及び地域学校協働活動の取組状況について

事務局（教育部長）より資料に基づき説明

〔主な意見・質疑等〕

石川委員：かつて、東海市でも学校運営協議会を導入したものの、人事への意見ができるなど、委員の責任が重く、馴染まなかったため学校支援協議会として市内小学校に設置したという経緯があるが、今回の学校運営協議会でも人事への意見等ができるのか。

学校教育課長：今回導入する学校運営協議会でも人事に対する意見等はできるが、「この人の人事をこうしてほしい」という意見というよりは、「こんな学校にしたいから、こういった職員配置にしてほしい」といった意見ができると捉えている。

石川委員：学校支援協議会よりも、学校の運営に対して意見が言いやすいという認識で良いか

学校教育課長：その通りである。

星川副市長：「東海市学校運営協議会要綱」の第４条の部分が拡大解釈されないよう注意が必要である。

村上委員：令和７年度（２０２５年度）の委員は変更となるのか。

学校教育課長：委員の任期は１年であるため、変更となる可能性もある。

久野委員：モデル校の三ツ池小学校と加木屋中学校で委員構成に違いがあるが、他の学校ではどのような構成となるのか。

学校教育課長：「東海市学校運営協議会要綱」の第7条にある構成を満たすように、地域特性に合わせて人選を行うこととなる。

(2) 東海市子どものいじめ防止基本方針の改定について

事務局（企画政策課）より資料に基づき説明

〔主な意見・質疑等〕

意見・質疑等なし

3 教育行政の推進に向けた意見交換

(1) こども未来会議について

石川委員：こども未来会議の開催頻度をどのようにお考えか。

花田市長：提案をいただいた内容については、可能な限り実現させて報告していきたいと考えているので、5年おきくらいの開催頻度で考えている。

(2) カバディの普及・啓発について

花田市長：2026年に開催のアジア競技大会にて、東海市民体育館がカバディの競技会場となっているため、市民にカバディを知ってもらう取組みを考えている。

教育委員会次長：小さな子どもに対しても親しみやすいように「灼熱カバディ」という漫画を購入し、児童館や小学校に配置できるよう検討している。

木村委員：子どもがやるには危険なスポーツだが、子どもたちでも体験できるようなルールはあるのか。

教育委員会次長：タグラグビーのように、カバディ協会では危険の少ないルールの用意もあるとの事なので、そういったルールであれば体験していただくことも可能だと考える。

久野委員：東海市の子どもたちに対し、指導できる人はいるのか。

教育委員会次長：現時点で指導できる人はいないが、カバディが普及してきた際には検討する。

教 育 長：市内には、民間も含め子どもたちを受け入れてくれる団体は多いと思うので、様々な活動の一覧を作って配布ができたらと考える。

教育部長：先日ワークショップで市民の方が映画を作成したが、その後も活動を続けており、新たな映画を作成したと聞いた。

教 育 長：先日のハーフマラソンで太鼓の演奏があったが、そういった活動も続けていただければと考える。

花田市長：発明クラブ等を通して、モノづくりへの興味も醸成してほしい。

(3) 無電柱化について

花田市長：創造の杜交流館付近に電柱が立っているが、無電柱化事業も有効であると考えている。

久野委員：祭りで山車が通ることを考えると、無電柱化は良いことである。

(4) 姉妹都市交流について

村上委員：先日沖縄交流で沖縄市から来た生徒たちはどのような様子だったか。

桜井課長：常に同行していたわけではないが、楽しんで帰っていただけたと感じている。

主任指導主事：沖縄にはないどんぐりや紅葉を見て楽しんだり、吐く息が白くなっているのを写真で取れないか挑戦したりしていたと聞いた。

久野委員：モーニングにも行ったと聞いた。